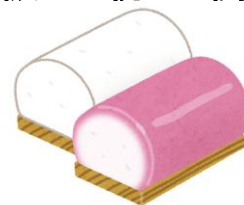




かまぼこの輸出

～数量・金額ともに近畿圏の輸出シェアがトップ～
世界に愛される日本の味・かまぼこ

平成27年12月17日
大 阪 税 関



お正月の御節料理に欠かすことのできないかまぼこ。紅白かまぼこは、日の出の象徴とされ、紅は邪気を払い、白は神聖を表す縁起の良い一品と言われています。また、お雑煮にかまぼこを入れる地域もあるようです。日本発祥のかまぼこが世界でも広く食されていることがわかりました。今回はかまぼこの輸出動向について取りまとめました。

※本特集のかまぼことは、HS1604.20-190(かまぼこその他のねり製品)を集計したものです。

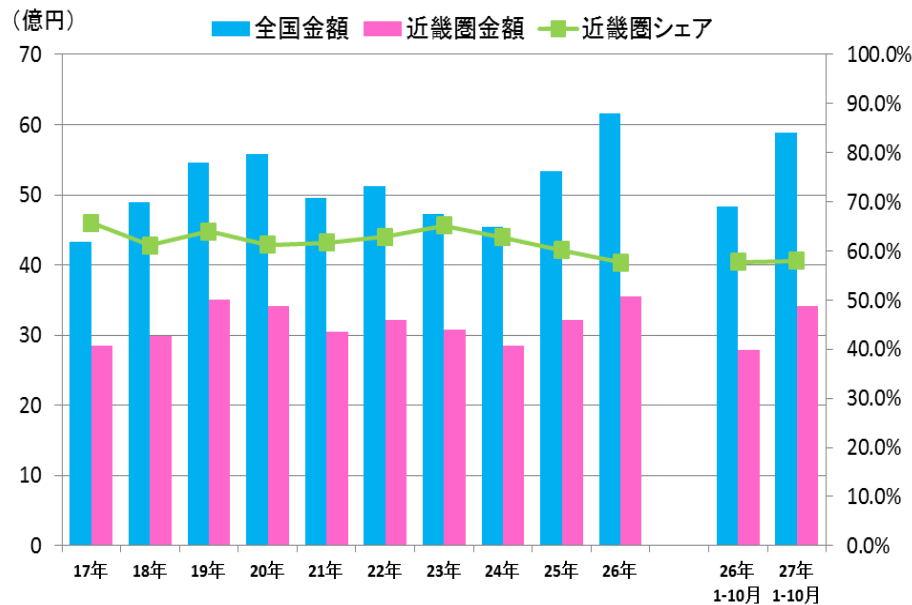
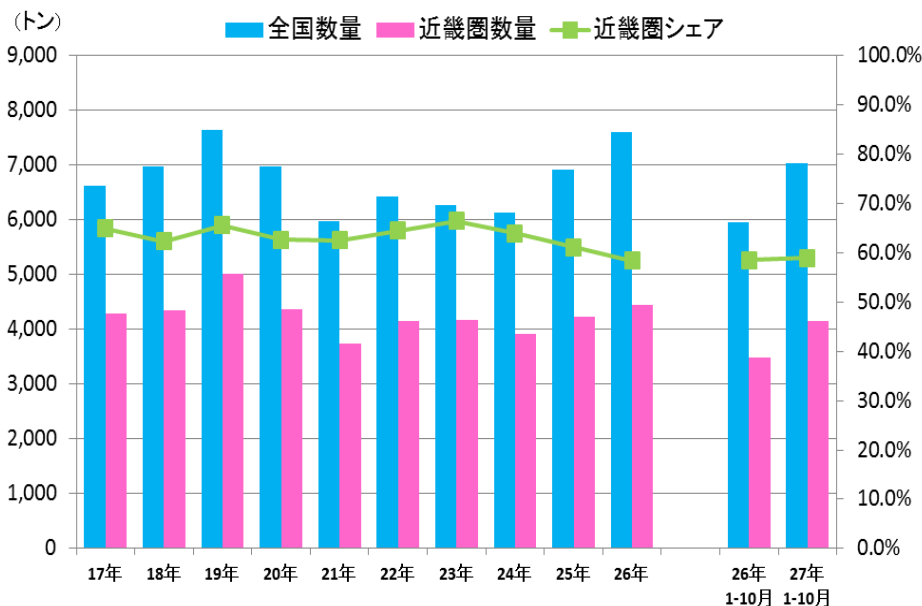
本特集における近畿圏は、大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県を合計したものです。

○輸出数量・金額の推移

平成26年の輸出数量は全国7,609トン(対前年比10.0%増)、近畿圏4,444トン(同5.0%増)となりました。

平成26年の輸出金額は全国62億円(対前年比15.6%増)、近畿圏36億円(同10.6%増)となりました。

過去10年間近畿圏が数量・金額ともに高いシェアを占めています。

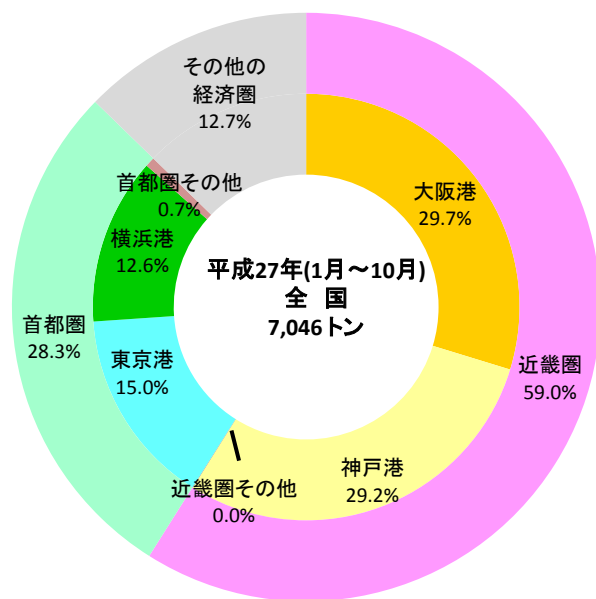


○経済圏別港別シェア

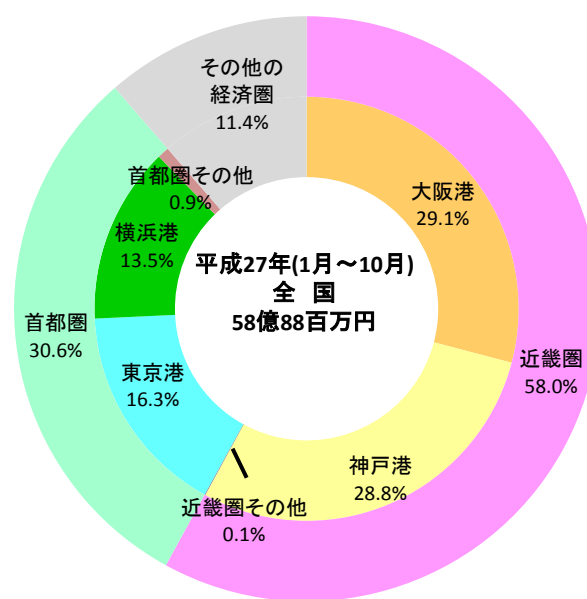
平成27年1月から10月における経済圏別シェアでは近畿圏が輸出数量59.0%、輸出金額58.0%となりました。

近畿圏内では大阪港と神戸港からの輸出が多く、そのシェアは大阪港は輸出数量29.7%、輸出金額29.1%、神戸港は輸出数量29.2%、輸出金額28.8%となりました。近畿圏の港が全国港別シェアの1位、2位を占めています。

輸出数量シェア

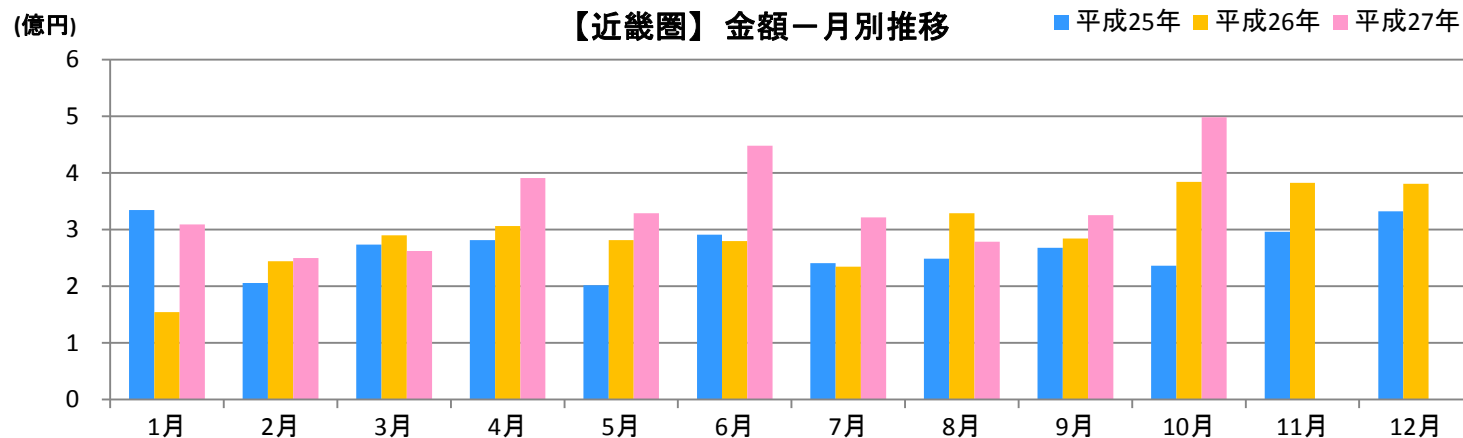


輸出金額シェア



○月別推移

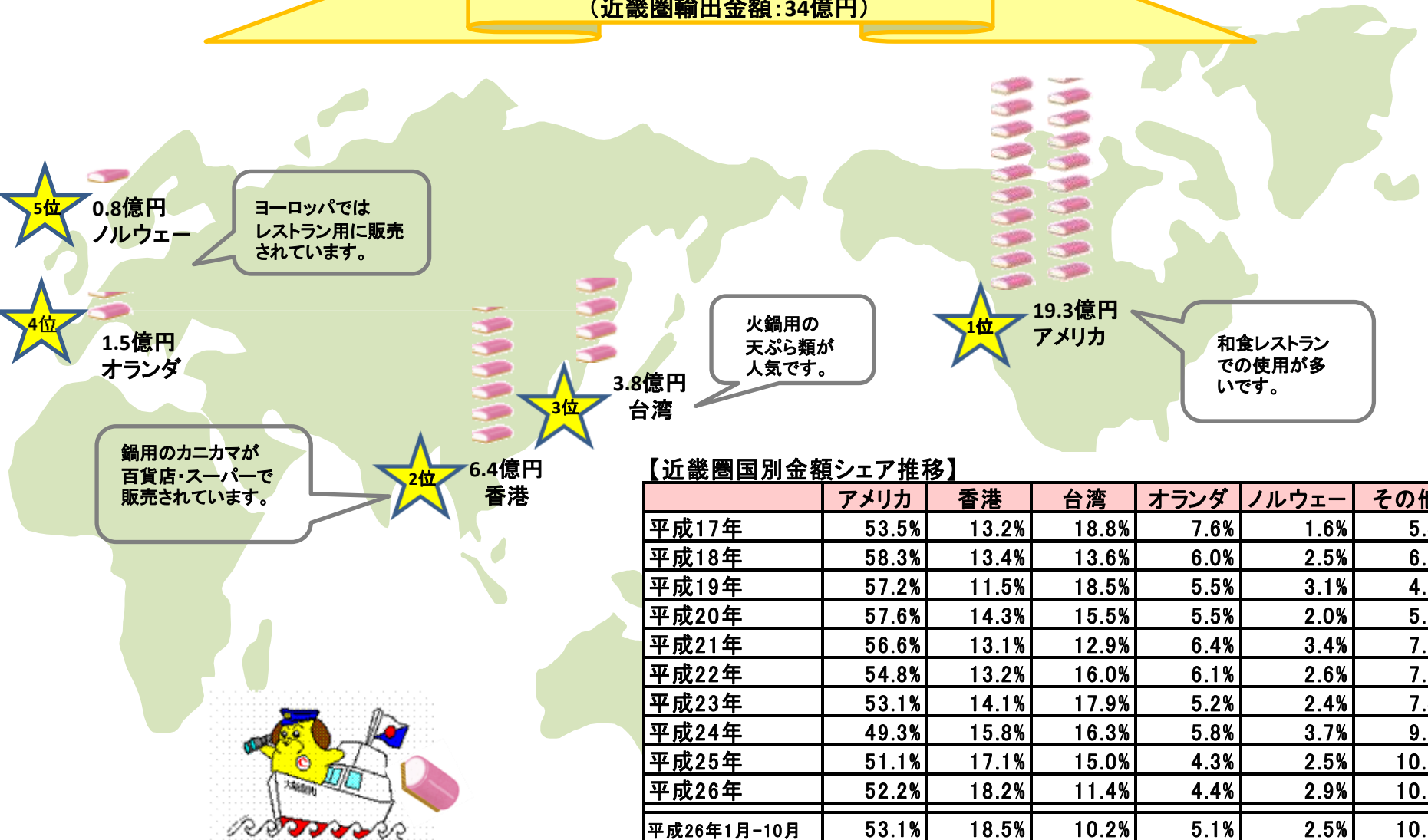
近畿圏における過去3年間の金額月別推移をみると、10月から12月の年末にかけて増加しています。業界によると御節商品の出荷、鍋・おでん用の具材の需要が増えるため、冬季に輸出金額が増加するようです。



○仕向国別金額シェア

仕向国別金額シェアでは、アメリカへの輸出が多く、56.7%のシェアを占めています。各国ではスーパーでの販売や、ホテル、レストランでの使用、寿司ネタなどに使用されているようです。

平成27年(1月～10月)
近畿圏における主要仕向国別金額
(近畿圏輸出金額:34億円)



【近畿圏国別金額シェア推移】

	アメリカ	香港	台湾	オランダ	ノルウェー	その他
平成17年	53.5%	13.2%	18.8%	7.6%	1.6%	5.4%
平成18年	58.3%	13.4%	13.6%	6.0%	2.5%	6.2%
平成19年	57.2%	11.5%	18.5%	5.5%	3.1%	4.3%
平成20年	57.6%	14.3%	15.5%	5.5%	2.0%	5.1%
平成21年	56.6%	13.1%	12.9%	6.4%	3.4%	7.6%
平成22年	54.8%	13.2%	16.0%	6.1%	2.6%	7.2%
平成23年	53.1%	14.1%	17.9%	5.2%	2.4%	7.4%
平成24年	49.3%	15.8%	16.3%	5.8%	3.7%	9.1%
平成25年	51.1%	17.1%	15.0%	4.3%	2.5%	10.1%
平成26年	52.2%	18.2%	11.4%	4.4%	2.9%	10.8%
平成26年1月～10月	53.1%	18.5%	10.2%	5.1%	2.5%	10.5%
平成27年1月～10月	56.7%	18.7%	11.1%	4.3%	2.3%	6.9%

【おわりに】

日本から輸出されているかまぼこは北米、アジア、ヨーロッパで食されていることがわかりました。北米では和食レストランでの需要が高く、アジアでは鍋用の具材としてスーパーや百貨店で小売り用のものが販売されているようです。アジアでは日本同様におでん用のかまぼこ類もありますが、鍋用のカニカマが人気であるようです。鍋に入れても煮崩れず、色合いが鮮やかであり、味がしっかりとしているという点から好まれているようです。

ヨーロッパでは日本製かまぼこに対する認知度の高さから、また北米では大規模な日系マーケットがあるため、かまぼこの輸出が盛んであるようです。アジアからの需要も増加傾向にあり、今後は数量金額を伸ばしていくであろうと業界はみています。

かまぼこが日本史上に初めて登場してからなんと今年で900年！

平安初期、魚をより美味しく食べたいという人々の想いからかまぼこは生まれました。当初は、細長い棒に魚のすり身を巻き付けて焼いた現代のちくわに近いものだったようで、昔から縁起の良い食べ物として、祝儀の席にはかまぼこを用意していました。

現代では加熱方法によって様々な種類のかまぼこが製造されており、海外では「surimi」「fish cake」「fish paste cake」「kamaboko」などの名で親しまれています。



原料魚の選び方

- 適度な弾力があり歯切れの良い食感のあるもの
- すり身がかたまりやすいもの
- かたまったりすり身を加熱しても歯ごたえ、弾力が損なわれないもの

が選ばれています。

冷凍すり身の出現

- 1960年、冷凍すり身が開発されました。
- 魚肉に耐久性が付与され、長期貯蔵が可能となりました。
- 現在様々な魚の冷凍すり身が作られ練り製品に応用されています。

かまぼこ板の役割

- かまぼこの乾燥に合わせて水分の出し入れをする
- かまぼこに長期間一定の水分量を保つことができる
- かまぼこの腐敗を抑える効果がある

としてかまぼこ板が利用されています。

【データ集】

【年別輸出数量実績】

	全国		近畿圏		
	トン	前年比	トン	前年比	全国比
平成17年	6,623	115.1%	4,301	105.2%	64.9%
平成18年	6,983	105.4%	4,357	101.3%	62.4%
平成19年	7,638	109.4%	5,009	115.0%	65.6%
平成20年	6,981	91.4%	4,374	87.3%	62.7%
平成21年	5,969	85.5%	3,735	85.4%	62.6%
平成22年	6,425	107.6%	4,148	111.1%	64.6%
平成23年	6,279	97.7%	4,173	100.6%	66.5%
平成24年	6,126	97.6%	3,922	94.0%	64.0%
平成25年	6,917	112.9%	4,232	107.9%	61.2%
平成26年	7,609	110.0%	4,444	105.0%	58.4%
平成26年1～10月	5,958	108.6%	3,485	102.7%	58.5%
平成27年1～10月	7,046	118.3%	4,154	119.2%	59.0%

【年別輸出金額実績】

	全国		近畿圏		
	百万円	前年比	百万円	前年比	全国比
平成17年	4,328	115.0%	2,843	107.3%	65.7%
平成18年	4,887	112.9%	2,989	105.1%	61.2%
平成19年	5,466	111.9%	3,499	117.1%	64.0%
平成20年	5,574	102.0%	3,414	97.6%	61.2%
平成21年	4,948	88.8%	3,051	89.4%	61.7%
平成22年	5,129	103.7%	3,223	105.6%	62.8%
平成23年	4,721	92.0%	3,079	95.5%	65.2%
平成24年	4,549	96.3%	2,854	92.7%	62.8%
平成25年	5,334	117.3%	3,212	112.5%	60.2%
平成26年	6,165	115.6%	3,553	110.6%	57.6%
平成26年1～10月	4,830	114.2%	2,789	108.0%	57.7%
平成27年1～10月	5,888	121.9%	3,414	122.4%	58.0%

【経済圏別港別実績（平成27年1月～10月）】

	数量			価額		
	トン	前年比	全国比	百万円	前年比	全国比
全国	7,046	118.3%	100.0%	5,888	121.9%	100.0%
近畿圏	4,154	119.2%	59.0%	3,414	122.4%	58.0%
大阪港	2,095	134.0%	29.7%	1,713	135.8%	29.1%
神戸港	2,057	107.1%	29.2%	1,698	111.2%	28.8%
その他	2	885.3%	0.0%	3	887.4%	0.1%
首都圏	1,996	101.1%	28.3%	1,804	107.2%	30.6%
東京港	1,054	113.3%	15.0%	958	121.3%	16.3%
横浜港	890	87.7%	12.6%	793	92.1%	13.5%
その他	52	180.9%	0.7%	52	162.5%	0.9%
その他	896	179.3%	12.7%	670	187.2%	11.4%

【近畿圏 月別輸出実績】

平成25年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
トン	468	294	353	379	248	353	312	324	342	321	393	447
百万円	335	206	273	282	202	291	241	249	268	236	296	332

平成26年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
トン	206	312	356	373	338	357	301	445	354	444	484	475
百万円	155	244	290	307	281	280	235	329	284	384	383	381

平成27年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
トン	403	320	310	500	383	530	391	333	393	591	－	－
百万円	309	250	262	391	329	448	322	279	325	499	－	－

【近畿圏仕向国別実績（平成27年1月～10月）】

	近畿圏			
	国名	百万円	前年比	構成比
1位	アメリカ合衆国	1,934	130.5%	56.7%
2位	香港	639	123.5%	18.7%
3位	台湾	378	133.4%	11.1%
4位	オランダ	146	102.9%	4.3%
5位	ノルウェー	80	112.8%	2.3%

※本資料を他に転載するときは、
大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

※本資料に関するお問い合わせは大阪税関調査部調査統計課
まで。
(電話06-6966-5385)

大阪税関ホームページ
(<http://www.customs.go.jp/osaka/>)